

2050年「ゼロカーボンシティ特別区」 の実現に向けた特別区長会共同宣言

地球温暖化に伴う気候変動により、世界各地で異常気象と大規模な自然災害が急増し、東京においても台風や豪雨による大規模水害や熱中症による死亡者の増加などの危機に直面している。

地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しない脱炭素社会の実現は、人類共通の課題であるとともに、全ての地域が責任をもって待ったなしで取り組まなければならない課題でもある。我が国も2030年までに温室効果ガスを2013年度比で46%削減し、2050年にはカーボンニュートラルを達成することを目標に掲げた。

このような中で、人口と社会資本が集中し、エネルギーと資源が大量消費される東京において、特別区が、基礎自治体としての役割を果たし、温室効果ガスの排出削減の取組を加速させることは、世界の脱炭素化を牽引する上で極めて重要な使命である。

特別区長会は、各区が地域特性に応じた地球温暖化対策を実施することに加え、特別区が連携し、相乗効果を最大限に引き出すことで、2050年までに温室効果ガスの排出量が実質ゼロとなる「ゼロカーボンシティ特別区」の実現を目指し、取組を加速させる。

さらに、特別区長会は、区民、団体、事業者、金融機関、教育機関など多様な主体と連携して、環境、経済、社会の課題を同時に解決しつつ、世代を超えて幸福に生きる活力にあふれた持続可能な特別区の構築に向け、「ゼロカーボンシティ特別区」の実現を目指すことを宣言する。

2023年10月16日 特別区長会